科学技術高校・理科通信

いきもの記

Vol.135 2025.3.24

生物教員 佐藤龍平

魚を抱きかかえる?! 渓流の“びろびろ”ガエル

ナガレタゴガエル

ナガレタゴガエルがすむ渓流 標高300m程
２月の繁殖期には、渓流の“淵”に集まる。
東京都あきる野市

水中を覗くと…いた！ 川底にナガレタゴガエルの姿が！防水カメラを突っ込んで撮影。手が凍りそうだった。

びろびろのオス 皮膚呼吸のために、繁殖期の秋から春だけオスの皮膚がたるむ。後肢の水かきも非常に発達している。

本当に魚に抱きついた！20cm弱のイワナに抱きつく２匹のオスのナガレタゴガエル *Rana sakuraii* 一番見てみたかった念願のシーン！繁殖期のカエルのオスは動くものに飛びつく習性があるが、渓流性のナガレタゴガエルは魚にも抱きついてしまう。このあとすぐに抱きつくのをやめてしまい、シャッターシーンは一瞬だった。

この世には、**魚に抱きつくカエル**がいるらしい。しかも見た目が**びろびろ**！そんな話を聞いたら、気になって仕方がない。南米のアマゾンの話とかなら諦めるが、なんとそいつは東京にいるらしい。**いざ、びろびろ魚抱きかかえる探しの旅へ！**

２月、あきる野市のとある渓流にて。手を入れると数秒で感覚がなくなるほど水が冷たい（というより痛い）。こんな時期にカエルいんの？！と不安になる。調べた情報を頼りに、水深のある“淵”の部分を覗くと、底に動き回る物体が！皮膚がびろっびろの**ナガレタゴガエル**だ！うおー、なんてヘンテコな見た目なんだ！数が多いので、とりあえずカメラも準備せずにそこら一体を覗き回ってみる。すると、イワナも泳いでいて、カエルの横を通りかかった。と思ったら……**あ！飛びついた！！**カエルがイワナに抱きついたのである！まさか到着していきなり見れるとは！慌ててカメラを準備して、何とか撮影はできた。

しばし観察を続けているとオス同士のケンカ（蛙合戦）も見れた。ただし、魚に抱きついたのは一度だけで、**あのシーンはかなりラッキーだった**と思い知った。**渓流に住んでいるからこそのおもしろ生態**を見れて大満足だ（凍えたけど）。

今回、このカエルのためだけに**ついに胴長（どうなが）を買ってしまった。**いよいよこの不治のカエル病も重症だ。ちなみに、あとで知ったのだが、なんと**全く同じ日に、ぼくがいた川のすぐ近くで、カエル班卒業生のハルタが同じカエルを探しに来ていた**らしい。そんな偶然ある？こちらも重症のようだ。

さぁ、カエルに憑りつかれた男たちの冒険は、まだまだ続く（のか？）。乞うご期待。

抱接ペア この状態で産卵場を探し、流れ下りながら１km以上も移動することもある。そんな生態は世界的にも珍しいそうだ。

メスを求めて大混乱の蛙合戦！ この写真の中だけで２匹のメスと６匹のオスが写っている。オス１と２は、メス１に逆さまに（頭の向きが逆に）抱きついてしまっている。

参考文献：三輪時男(2002), 秋川上流域におけるナガレタゴガエルの生態学・発生学的研究と棲息環境の保全について, 財団法人とうきゅう環境浄化財団